

<p><目指す学校像> 生徒が「日本一だ」と誇りをもって卒業することができる学校</p>	<p>熊谷東中学校だより 第6号 し の の め</p>	<p>4つの実践 ○朝ごはんをしっかり食べる。 ○呼ばれたら「はい」と元気よく返事をする。 ○「ありがとう」「ごめんなさい」と言う。 ○友だちをたくさんつくる。</p>	<p>スマホ使いの注意 2021 自分や周りの人の情報を管理する。 他人を驚かせない。 いじめやいじめの助長をしない。 いじめやいじめの助長をしない。 いじめやいじめの助長をしない。</p>
<p><学校教育目標> 志高く 心豊かな生徒 主体的に学び、考える生徒 たくましく生きる生徒</p>	<p>東雲 令和4年10月27日発行</p>	<p>3減運動 テレビの時間を減らします。 ゲームの時間を減らします。 スマートフォン・携帯電話やパソコンに触れる時間を減らします。</p>	<p>熊谷市立熊谷東中学校校長 伊藤 幸男</p>

「共感する心」(「後期始業式」より)

熊谷市立熊谷東中学校長 伊藤 幸男

今日は「共感する心」という話をします。友だちがニコッとすると、ついこちらも微笑んでしまう経験をしたことはありませんか。この現象は「表情模倣」(facial mimicry)と呼ばれていて、笑顔や喜びだけでなく、驚き、悲しみ、怒り、嫌悪(ムカつく)、恐れなどの基礎的な感情を表すこと全般に広く起こるのだそうです。そしてその模倣は、相手の表情が動き始めてから0.5秒くらいのうちに起こると言います。これは生まれたばかりの赤ちゃんの段階でも、また、猿などの霊長類にも見られるそうです。また、他人の模倣をする現象は、微笑みといった表情だけでなく、体の動作や姿勢、話すスピード、声の高さにも認められるそうです。そもそも脳の仕組みの中に、この「模倣すること」が人間や動物に基盤として備わっているらしく、研究者たちはこの働きを「ミラーシステム」と呼んでいます。



このシステムに関わる興味ある話を紹介します。ひとつは、「ミラーシステム」のように自分が友人の動作や表情をコピーすることで、相手の心や気持ちなどの感情を理解しようとするメカニズムはどの人にも生来備わっているのだということです。周りの友人たちが盛り上がっていると、なぜか自分も元気になってくるような気がする経験をしたことはないですか？逆に、自分はずっとも元気に周りの人がなぜか沈んで暗くしているので自分も静かにしていたという経験です。

もうひとつは、私たちが「共感」=「相手を思いやる行為」とイメージすると思いますが、この人間の「相手を思いやる行為」は哺乳類の動物たちにも広くみられたという報告です。例えば、血のつながりのない他人どうしのチンパンジーたちが、まもなく死んでしまうかもしれない状態の仲間に対して、柔らかいおがくずでベッドを整えた例や、苦境にある仲間を助けたり寄り添ったりする行動が象やイルカにも見られるのだそうです。ディズニーのニモやドリー、クラッシーのチームワークもアニメだけの話ではないのかもしれませんが。

こうした研究の報告から分かることは何でしょう。私が皆さんに伝えたいポイントです。

多くの仲間が、明るい雰囲気、笑顔で、気持ち良い気分していると、自然とその集団の共感力は高まり、何か目標が達成できる気がしてくるというのです。集団に活気がうまれます。一人一人の笑顔が集団の共感力を高め、集団の質を高めていくのです。これは、学校生活でとっても大切なことだと思いませんか？

今週は東雲祭です。私が今話したことを各学級でぜひ実験してみましょう。「多くの子が明るく、目的をもって互いに働きがけをし合えば、必ずいい歌が、いいハーモニーが奏でられます。」ぜひ、試してみてください。また、3年生。これから受験準備の追い込みに本格的に入ります。試験日に受験しに行くのは一人一人の個人であり個人戦となりますが、試験日まで互いの学力を高め合おうとともに励まし合えるのは共感的な団体戦の成果だと私は信じています。



多様性を認め合う時代です。一人一人の個性を尊重し、マイペースを守り生活していくことは大切です。しかし、周りを見ないで自分の世界、自分の気分だけで生きていくのは、周囲にとっては大変迷惑です。人や動物が備えている「共感する心」をフルに活用していきましょう。「共感」そして一人一人の個性を生かしたチームワークで、それぞれの学級を立派な作物として育ててください。お願いします。以上、後期始業式の校長の話とします。



熊谷東中歳時記(10月)

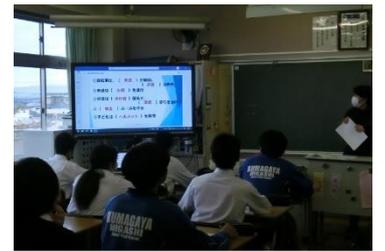


熊谷市教育委員会、北部教育事務所一斉訪問【10月6日(木)】



すべての学級の授業を公開し、教育委員会等の先生に皆さんの学習の様子を見ていただきました。一人一人が授業に積極的に参加している様子にお褒めの言葉もいただきました。後期に入り、各自が立てた具体的な目標の達成に向けて計画的に取り組めるとよいです。

学級活動「安全な登下校」【10月12日(水)～10月18(火)】



本校は、全校生徒のうち94%が自転車で登下校をしています。校区が広い上に狭い道も多く、安全な登下校を続ける必要があります。地域の方からの注意も多いため、改めて自転車に乗る際のルールの確認や話し合いを通して各自のこれからの登下校に対する目標を決めました。ご家庭でも、自転車の乗り方や交通ルールの重要性について今後ともご指導をお願いします。

前期終業式、表彰【10月20日(金)】、後期始業式、表彰【10月24日(月)】



令和4年度の学校生活が始まって、約7ヶ月が過ぎました。いずれの式も新型コロナウイルス感染症対策のため、オンラインで実施しました。式では、1年生から3年生までの代表各1名の生徒が前期の振り返りや後期の決意を作文にし、発表しました。後期は、さらに努力をしていこうとする気持ちが伝わってきました。表彰も行いました。様々な分野で力を発揮する生徒が多い東中です。後期も、一人一人が確実に成長し、本校の目指す「生徒が『日本一だ』と誇りをもって卒業する学校」の実現に向け、職員もチームとなって教育活動を展開していきますので、引き続き、ご理解とご協力をお願いします。(ぜひ、本校のホームページも継続してご覧ください。)